

講義名	英語 A（総合）			授業形態	
担当教員	前田 修江	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	
主題と概要					
高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指します。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成します。 共通教材については、原則CALL教室でパソコンを使いながらオンラインで練習を行います。					
到達目標					
共通教材：基本語彙と文法事項の確認と定着を目指します。					
提出課題					
なし。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
テストにコメントを書いて返す。					
評価の基準					
出席状況、授業中の活動状況、平常点を50％とします。 共通教材期末テストの得点を25％とします。小テストの平均点 2 5 ％とします。					
履修にあたっての注意・助言他					
授業には積極的に参加してください。英語の基礎力（語彙および文法）を高めるよう努力してください。 基本的には対面授業といたしますが、新型コロナウイルス感染症の状況により、オンライン講義となる可能性があります。その場合は別途、受講生の皆さんにご案内いたします。					
教科書					
. ENGLISH FIST STARTER.		Rovert Hicklig	金星堂	1900	9784764739697
参考図書					

その他									
必要に応じて授業中に指示します。.....									
授業計画									
1 Moodle教材：紹介 2 Set1 ...Be動詞 3 Set2 / Quiz 1 ...同上 4 Set 3 / Quiz 2 ...一般動詞 5 Set 4 / Quiz t 3 ...同上 6 Set 5 / Quiz 4 代名詞 7 Set 6 / Quiz 5 同上 8 Set 7 / Quiz 6 前置詞 9 Set 8 / Quiz 7 同上 10 Set 9 / Quiz 8 ...疑問文 11 Set 10 / Quiz 9 同上 12 Set 11 / Quiz 10進行形 13 Set 12 / Quiz 11 同上 14 Quiz 12 ...unit17動詞の過去形 15 共通教材期末テスト									
授業形態（アクティブ・ラーニング）									
<table><tr><td>ア：PBL（課題解決型学習）</td><td>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</td></tr><tr><td>○ ウ：ディスカッション、ディベート</td><td>エ：グループワーク</td></tr><tr><td>○ オ：プレゼンテーション</td><td>カ：実習、フィールドワーク</td></tr><tr><td colspan="2">キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）</td></tr></table>	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	○ ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク	○ オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク	キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）								
○ ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク								
○ オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク								
キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）									
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間									
予習、復習すること。ムードルテストは2時間。プレゼンテーションやディスカッションの準備、練習に2時間。									
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連									
基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につなげる。これらの能力は商学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。									
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述									
使用なし									
実務経験の有無及び活用									
教科書で文法の復習、会話、プレゼンテーション									
備考									
出席、参加重視。									